

製造工場における設備保全の効果的な運用法

<多くの事例を紹介>

【LIVE配信】

設備保全の重要性と導入・運用方法を達成するための手順について詳解！

- ◆日時：2024年05月29日（水）13:00～17:00
- ◆会場：自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆聴講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき**44,000円（税込）**
 ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料（2名で49,500円（税込））**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：(株)保全ラボ 代表取締役 清岡 大輔 氏 <元 旭化成(株)>

1. オープニング

- 1-1.設備保全とは何か
- 1-2.設備保全の効果
- 1-3.社会的要請としての設備保全
- 1-4.設備保全とDXの相性がよい理由 ・事例紹介：センサーの取付

2. 設備保全の業務3要件とその効果

- 2-1.貴方の工場は本当に設備保全ができていますか？
- 2-2.工場ごとの設備保全のあるべき姿としてのレベル区分
- 2-3.設備保全の3要件
- 2-4.計画的な保全の方法とその効果
 ・事例紹介：時間の効率化 ・事例紹介：人員の効率化

3. 要件1：設備の機械構造や、

生産条件に応じた点検やトラブル対応

- 3-1.設備構造を理解することの重要性
- 3-2.保全方式とは ・事例紹介：設備単位での保全計画
- 3-3.設備の重要度と、リスク（故障の発生確率）に応じた点検や検査
- 3-4.特殊設備や内製設備の対応方法
- 3-5.実践方法（保全計画の作り方）
 ・対象範囲の決定 ・設備の重要度の検討 ・保全方式の検討
 ・故障部位と確率の推測 ・保全計画の作成 ・教育計画
- 3-6.設備が損傷する要因（故障の5大要）
- 3-7.部品の劣化パターン（4つの劣化パターンと保全方式）
- 3-8.保全計画で作成する資料
 ・点検チェックシート ・整備記録書 ・トラブル原因調査
- 3-9.保全教育の考え方 ・事例紹介：社内教育検討プロジェクト

4. 要件2：データ利活用、保全予算のモニタリング

- 4-1.保全予算の勘定科目と保全予算の分析項目分類の違い
- 4-2.一般的な保全予算の分析項目
- 4-3.予算性格別分類
 ・事例紹介 ・予算性格別分類の項目例 ・簡易的な方法例
 ・設備投資の性格別分類例
- 4-4.モニタリングを行うための管理項目の設計
- 4-5.保全履歴の分析（事例：コスト検討、保全作業の効果、適正な資源配分）
- 4-6.設備情報の整理（情報整理の重要性と事例紹介）
 ・事例：予兆保全を始める際の情報整理 ・事例：設備の機番の付け方
- 4-7.データのライフサイクル

5. 要件3：設備管理の目標値を適切に策定している

- 5-1.一般的な保全目標の項目
- 5-2.設備保全の目標設計方法
- 5-3.目標設計の失敗事例5選（設備保全の意味のない目標事例5選）
- 5-4.正しい目標値のつけ方
- 5-5.工場の目標設定 ・目標設計の事例：5社

6. 設備保全の業務の導入・運用を

着実に達成するための手順と、その効果

- 6-1.設備保全の業務フロー
- 6-2.保全履歴の重要性
- 6-3.設備保全の導入パターンの選択肢
- 6-4.設備保全の導入ステップ
- 6-5.設備保全の効果
- 6-6.では始めてみよう
- 6-7.設備保全の導入事例

【LIVE配信セミナーとは？】

- ・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Web ブラウザから参加するかの2種類がございます。ZOOM WEBセミナーのはじめかた (<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>) をご覧ください。
- ・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式（受講券、請求書、会場の地図）になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。
- ・お申込み後、接続テスト用のURL (<https://zoom.us/test>) から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。
- ・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナー資料は郵送にて前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・ご質問については、オープンにできるご質問をチャットにご記入ください。個別相談（他社に知られたくない）のご質問は後日メールにて講師と直接お願いします。

『設備保全【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>